## 事業実績書

事業名		「さいしょのいっぽ つながる笑顔」事業
場所		沼津第三地区センター
期間		平成31年4月1日~令和2年3月15日
	日程	実施項目・作業項目
事 業 内		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) 〈実施内容〉 年間を通じて毎月2回そこに行けば誰かと話せる、繋がれる、赤ちゃんのためにお出かけをする「さいしょのいっぽ」の広場を提供する。成長の記録である手形や足形を取りながら、ファシリテーターを介して参加者同士で会話するきっかけをつくることで、その後の子育ての日々を後押しする仲間づくりや、自分にあった次の居場所を選択することができるようになる。親子にとっての大切な記録になるだけでなく、子育環境のニーズ等のリサーチにもつながる。親子同士の交流をつなぐためには、すでに子育てを満喫している親子の層とのふれあいも重要となるため、「さいしょのいっぽ」の広場では、ベビーマッサージやリトミックなどの場も設け、すでに情報網を持っている先輩ママ層の呼び込みとママ同士の交流支援も行う。 〈実施回数〉月1回~2回 全20回(4月~翌2月)10:00~12:00 ※天候、コナの影響により中止あり参加組数216組
容		〈実施場所〉 沼津第三地区センター ①手形足形アートと交流会、歩き出す前の月齢向け講座(ベビーマッサージなど講師招致・有料講座):5月~翌2月 全9回 ②手形足形アートと交流会、歩き出した後の月齢向け講座(リトミックなど講師招致・有料講座):4月~翌2月 全11回 〈人員配置・役割分担〉 ①ベビマ講師1名・専門家(ベビーウェアリングコンシェルジュ)1名・交流支援ファシリテーター1名 計3名配置 ※その他子育て支援関係者の参加②リトミック講師1名・専門家(栄養士・子育てインストラクター)1名・交流支援ファシリテーター1名計3名配置 ※その他子育て支援関係者の参加事務局:運営における打合せ・資料作成・参加者募集・申込管理・参加者連絡・アンケート作成・集計等については事務局(1名)を設置
事業効果		事業期間中、1ヵ月に1回、スタッフ会議を行った。 ※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。 手形足形アートなど、赤ちゃんの成長の記録をとることで、参加者に日々の育児と向き合うきっかけを提供し、子育ての喜びを感じてもらう。ファリシテーターが間に入ることで、単独参加のお母さんでも他のママとの繋がりが自然にできる。赤ちゃんとのお出かけに慣れている層が興味を持つ講座を設定することで、すでに一歩先の月齢、年齢にいる先輩ママたちにも参加してもらい、多年齢・他月齢の居場所作りが行える。その後の子育ての日々を後押しする仲間づくりや、自分にあった次の居場所を見つけてもらうのに役立つ。

## ベビーマッサージやリトミックなど行政が無料で提供する講座が充実してきたこと で、参加費500円の運営に対し、参加者の集客・ニーズに正直苦労した。また、 産後1年で仕事復帰する家庭も多いため、深いコミュニティの場よりも、出会いの きっかけの場を求めているように感じた。今回のベビマ・リトミックの部分のみを 今後の活動予定 切り取ると、その部分の企画としては、私たちの役割は果せたと感じた。今後は、 ニーズのある先輩ママとの関わりや出会いのきっかけづくりは残しつつ、現役のマ マがママ目線で企画する季節のイベントを月1回開催し、親子が学び、楽しみ、情 報を得て繋がることができる「あったらいいな」を形にした場所を提供していく。 当団体のネットワークを生かし、沼津市近隣に存在する様々な特色や強みを持つ 子育て団体・子育て支援関係者についての情報提供を行い、最初の一歩のその後に 繋げる自分に合った居場所の選択肢を広げることに寄与できた。 最初の一歩を踏み出す親子の身近なサポーターとして、行政支援で補いきれない 母親同士の交流支援(ママ友作り)や、先輩ママによる経験者・当事者目線の相談 支援を行うことで、一番孤立しがちな0歳~就園前までの親子の心のケア、および 仲間づくりに貢献できた。 自己評価 子育て経験のあるファシリテーターや専門家講師を配置し、心身共に日常の育児 を楽に健やかに行うためのアドバイスを行った。母親同士の交流支援を意識的に行 うことで、単独参加でも居心地の良い空間を意識した。「4回以上参加したリピータ 一」が70%、「活動に参加してとてもよかった」と答えた方が88%(「よかった」 を含めると100%)とのアンケート結果をいただいた。親子のあったらいいな」 に応える事業ができたと考える。一番孤立しがちな〇歳~就園前までの親子の心の ケアができた。